

森林管理道「原の平線」の紹介

静岡県 中遠農林事務所 森林整備課

林道「原の平線」は、静岡県の中西部に位置し、掛川市黒俣と島田市川根町家山を結ぶ延長5,496m、幅員3.6～4.0mの森林管理道です。

掛川市により昭和46年～昭和53年に開設された林道で、開設後40年以上が経過していますが、市や県により舗装や路肩改良等の改築工事が行われ、現在も周辺一体の森林整備の基幹的な路網として、利用されています。

当林道が整備を担う黒俣地域の森林は、掛川市を始めとする下流都市部の大切な水源になるとともに、林道を起点に林業専用道や作業道が延進され、木材生産が活発に行われています。

また沿線では、県の一貫作業システムを基軸とする主伐・再造林のモデル事業を実施し、普及に向けた取組を進め、また、森林組合と民間企業により、無人ヘリコプターを使用した防鹿柵資材搬送の共同試験の実施などスマート林業推進の一環とする先進的な取組も行われています。



無人ヘリコプターを使用した共同試験



林道「原の平線」から延びる林業専用道「原の平支線」



位置図

